

なかつがわ

市の花 サラサドウダン

令和7年 中津川市議会 3月定例会



享保お内裏びな



昭和初期のお内裏びな

なつかしい中津川の土びな



令和のひな祭り

土びなは安土桃山時代にはじまり、東海地方では三河を中心に制作され、江戸末期、明治、大正時代に広まったものです。中津川でも大正時代坂本村の浅野松之助・高次郎親子によって作成されました。



そして端午の節句

目次

令和7年度予算の規模と市税&借金(市債)の前年度比較	②
令和7年度予算の目玉事業	③
当初予算各部の主な取組と議会の所見	④
議案	⑦
予算決算委員会報告	⑩
常任委員会報告	⑬
特別委員会報告	⑭
一般質問	⑮
編集後記他	⑳

トピックス

- 令和7年度当初予算
- 常任委員会から市への政策提言・申入れ
- 特別委員会報告
- 当初予算各部の主な取組みと議会の所見
- 令和7年度完成予定の主な事業

中津川市 令和7年度予算の 主な取り組み 一般会計予算 453億円



教育環境の充実【新規】

- ◆不登校対策として校内教育支援センターを希望するすべての学校に設置
- ◆小・中学校の特別教室エアコン設置（令和7年度～8年度）
- ◆坂本に学校給食共同調理場を建設

子育て世帯のための給食費支援

- ◆市内の幼稚園・保育園・こども園に在籍する3歳以上児の給食費無償化
- ◆学校給食等の給食賄材料費の物価高騰分（19%程度）を公費負担

安心して子どもを預けられる環境づくり【拡充】

- ◆子どもたちの居場所 放課後児童クラブの増設 季節児童クラブの運営
- ◆病気や回復期の子どもを看護師や保育士が病児保育所でお預かり

ひと・まちテラスを活用したワクワク体験【新規】

- ◆ひと・まちテラスで子どもたちが好きなおしごとを体験
- ◆図書館で各種読書推進イベント（仮称）図書館フェスの開催

歴史と未来をつなぐ観光戦略【新規】

- ◆苗木城築城500年を見据えたイベントの開催
- ◆馬籠宿の景観保全と安全対策として水路・石畳を改修
- ◆なかつがわ御神木祭に伴う森林文化の発信
- ◆持続可能な観光地整備として、オーバーツーリズム対策の実施

地域資源を活用した産業振興【新規】

- ◆中津川市産材（桧・杉）を使用する建築物へ補助し木材関連産業の振興
- ◆中心市街地等における新規創業者の事業定着までをフォローアップ

都市計画区域内における住宅・事業用地の確保【新規】

- ◆組合施行による新たな土地区画整理事業に向けた支援として調査を実施

リニア中央新幹線開業を見据えた道路整備

- ◆神坂スマートインターチェンジ供用開始
- ◆都市拠点と広域交通拠点を結びリニア関連道路の整備
- ◆濃飛横断自動車道と一体的に機能する幹線道路の整備



やさしい市役所づくりの推進【新規】

- ◆行政ワンストップサービスを開始し、ご遺族の不安や負担を軽減
- ◆ウェブシステム（統合型GIS）で来庁せずとも地理情報を確認できる環境の整備

誰一人取り残さない社会のためのきめ細やかな支援【新規】

- ◆遠方の産科医療機関で健診・出産する必要がある妊婦の交通費及び宿泊費を助成
- ◆要介護状態で外出困難な在宅高齢者の自宅訪問理美容サービスの利用に助成

坂下診療所及び坂下老人保健施設への特別繰出し【拡大】

- ◆赤字補てん5億円と運営経費分3億5,740万5千円の合計8億5,740万5千円を施設運営維持のため一般会計が負担

物価高騰対策として、水道料金改定の一時的な見送りにより不足する料金収入分を特別繰出し【拡大】

- ◆料金収入不足分3億7,500万円と運営経費分9,545万2千円の合計4億7,045万2千円を一般会計が負担

令和7年度予算の規模と市税&借金(市債)の前年度比較

全会計の合計：866億4,486万円（対前年度比0.7%増）
 一般会計：453億円（対前年度比0.4%増）

(単位：千円、%)

	令和7年度		令和6年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	45,300,000	52.3	45,140,000	52.5	160,000	0.4
特別会計	18,912,975	21.8	18,554,137	21.6	358,838	1.9
企業会計	22,431,880	25.9	22,310,010	25.9	121,870	0.5
合計	86,644,855	100.0	86,004,147	100.0	640,708	0.7

税収：市税

(単位：千円)

区分	令和7年度	令和6年度	比較	
市税	10,618,627	9,934,568	684,059	6.9%
うち市民税	4,449,187	3,849,626	599,561	15.6%
うち個人市民税	3,783,962	3,304,281	479,681	14.5%
うち法人市民税	665,225	545,345	119,880	22.0%
うち固定資産税	4,833,639	4,759,453	74,186	1.6%
うち都市計画税	545,161	535,760	9,401	1.8%

借金(市債)の借入と返済

(単位：千円)

区分	令和7年度	令和6年度	比較		令和7年度予算
借金(市債)	3,129,400	3,490,308	▲360,908	▲10.3%	借入額(市債) 3,129,400
施設整備のための借金(市債)	3,129,400	3,414,300	▲284,900	▲8.3%	借金の定期償還額 3,905,363
うち元金					3,771,660
うち利息					133,703
臨時財政対策債	0	76,008	▲76,008	▲100.0%	借金残高 33,639,683

主な大型事業一覧

(単位：千円)

	令和7年度 予算額	財源内訳				令和6年度 予算額	比較
		国・県 支出金	市債	その他	一般財源		
リニア駅周辺 土地区画整理事業	870,759	299,750	126,200	401,162	43,647	949,846	▲79,087
リニア中央新幹線 関連道路整備事業	694,373	300,000	269,900	20,000	104,473	808,252	▲113,879
小学校施設営繕事業	435,579	82,690	265,800	1,751	85,338	50,676	384,903
中学校施設営繕事業	482,070	112,244	305,900	0	63,926	82,079	399,991
調理場整備事業	775,797	94,153	496,500	0	185,144	531,343	244,454

当初予算 各部の主な取組みと議会の所見

※□・・・各部の主な取組み、■・・・議会の所見

【農林部】

□先端技術を活用した生産現場の機械導入支援を行い、農地の集積・集約化を図ります。また、耕作を行うには条件的に不利な中山間地域への環境整備にも積極的に取り組みます。
令和6年度において、農業関係者等とともに市内13地域で策定した地域計画により、特色ある地域農業の推進を図ります。林業振興では森林が持つ多面的機能を効果的に発揮させるため、森林環境譲与税を活用し、民有林の整備と、木材関連産業の人材確保に取り組みます。

■森林環境譲与税の見直しで、森林整備や木材関連産業人材の確保については予算的な自由度が上がる一方、農業生産の現場も含め人材確保が喫緊の課題です。給食や市内飲食店の米価高騰による打撃も見逃せず、更に地産地消の推進や農産物ブランド化にも力を入れていただくようお願いいたします。中津川市の美しい景観は、農林業の盛況によって保たれることを今一度意識していただき、農林業従事者の意欲向上に努めていただくことを期待します。

【文化スポーツ部】

□生まれる前からシニアまで、生涯を通して読書に親しみ、豊かな心、想像力をはぐくむことができるよう、図書館を拠点としたさまざまな読書活動を推進し、支援します。令和7年度は「(仮称)図書館フェスタ2025」を新たに開催します。
令和7年度も「一市民1スポーツ」による健康づくりを推進します。利用者の立場に立った安全・安心で快適なスポーツ施設の維持管理に努めます。誰もがスポーツを気軽に楽しめるように、運動意識の醸成に取り組みます。
多様化する学びのニーズに対応できるように、様々な視点を取り入れた学びの機会、発達の場の提供など、「学び、活かす」活動を促進し、支援します。

■ひと・まちテラスを活かし、図書館機能の今以上の充実を期待します。また、全世代にわたって、スポーツ活動、文化活動に取り組みやすい仕組みづくりに期待します。喪失の恐れがある貴重な中津川市の歴史文化の保存にも尽力願います。図書館のみならず、事業の全般においては、人口減少を見据え、行政だけで行うのではなく、様々な団体の市民個人や、読書や図書館に携わる団体等との協働にもしっかりと取り組んでいただくことを期待します。

【市民福祉部】

□子育て世帯や子どもに対して一体的に相談支援を行います。インフルエンザや帯状疱疹予防接種など市民の感染症予防と健康増進を推進します。介護予防と日常生活支援、要介護高齢者支援など、きめ細やかな支援に取り組み地域包括ケアシステムの深化を推進します。地域福祉の推進のため、市民、関係機関、福祉サービス事業者とともに「中津川市地域福祉計画第3期計画」の策定に取り組みます。「行政ワンストップサービス体制の確立」を目指し行政サービスの向上を進めます。

■令和7年度は、第1期中津川市こども計画がスタートします。「こども家庭センター」を中心に、「1カ月児健康診査支援事業」や「遠方の産科医療機関等で受診する妊婦健診時にかかる交通費支援事業」など母子保健事業の新たな取り組みに期待します。また、病児保育所や放課後児童クラブの拡充、ひとり親家庭へのきめ細やかな支援と、18歳までの子どもの医療費助成など、安心して子育てができる環境づくりに期待します。

【商工観光部】

□リニアをはじめとする交通インフラの整備による利便性やアクセスの向上を見据え、中心市街地におけるまちづくりや、若い世代の地元定着、観光誘客による地域活性化に取り組みます。
裏木曾御用材伐採式に併せて実施するなかつがわ御神木祭や、雷木城築城500年を見据えたイベントなど、中津川市の歴史・文化資源の価値を市内内外へ発信し、誘客に繋げます。
持続可能な観光地とするため、オーバーツーリズム対策に関係者と連携して取り組みます。

■リニア開業までに中心市街地の活性化・若い世代の地元定着・観光誘客による地域活性化には確実な道筋を立てる必要があります。社会情勢や市民感情を意識した、十分な議論・検討をお願いします。
特に観光施策については大きなイベントを控える中、地域特性を考慮した具体的な取り組みへの移行を急いでいただき、官民一体となって盛り上げていけるよう、充実した広報を期待します。

【リニア都市政策部】

□幅員狭小なリニア関連の工事では、生活への影響低減や安全確保の調整を図ります。また、小中学生の見学会を実施します。都市計画の改定に着手し、エリア価値の向上を推進します。老朽危険住宅の除去や耐震化を支援します。自動運転技術の活用を見据えた公共交通のあり方を検討します。

■リニア駅周辺整備で、市民はもちろん全国から訪れる人々に魅力的な空間の創出や、将来にわたっての持続可能なまちづくりに期待します。

当初予算 各部の主な取組みと議会の所見

※□・・・各部の主な取組み、■・・・議会の所見

【政策推進部】

□令和7年度は「中津川市総合計画 後期事業実施計画」の3年目となり、着実に事業を推進するとともに、市民との対話を重ねながら、市民の想いを市政に反映します。
現在の総合計画の計画期間は令和8年度までとなるため、令和9年度から新たにスタートする次期総合計画の基本構想及び基本計画を令和7年度に策定します。

■平成27年度から始まった総合計画も総仕上げの時期です。市民が納得できる成果が得られることを期待します。
次期総合計画の策定では、これまでの取り組みをつぎに振り返ると共に、住民の声に耳を傾け、市民がワクワクする計画の立案を期待します。また市民に確実かつ丁寧な情報発信をお願いします。

【定住推進部】

□若者の地元定着や地域振興を柱に人口減少を食い止め、地域課題の解決を図るなどの取り組みを進めていきます。関連団体との協働により、持続可能な地域活動のための事業を実施していきます。
若者の地元定住として「新婚さん住まいる応援事業」「子育て世帯住まいる応援事業」を継続し、若い世帯の住宅取得を支援します。人口減少、後継者不足、活力低下などの課題に対して、各まちづくり協議会の強化体制につなげるために地域一括交付金の増額とともに、集落支援員との密接な連携を図り活力ある地域づくりの支援に取り組んでいきます。

■自治体の多くは少子高齢化と人口減少に直面しており、中津川市にとって、人口減少の食い止めは重要な課題です。
これまでの「新婚さん住まいる応援事業」「子育て世帯住まいる応援事業」の継続に加え、令和7年度の方針として、各地域のまちづくり協議会の体制強化と一括交付金の増額、集落支援員との連携で活力ある地域づくりの支援は大切と考えます。
地域では交通弱者の交通手段が問題となっております。コミュニティバス運営の改革とともに、民間事業者との連携への取り組みが必要と考えます。

【市長公室】

□「笑顔があふれ、未来がワクワクするなかつがわ」に向け、市役所は「スピード感をもつ活力ある市役所づくり、行政ワンストップ体制の確立」を目指し、市民のため、子どもたちのための組織へと改革を実行します。また、これまで以上に組織全体を俯瞰する視点を持ち視野を広げ、且つ、関連する部署等との連携の強化に取り組むなど職員の意識改革を実行します。
秘書課、人事課それぞれの取り組みに加え、機構改革を踏まえ、総合計画の総仕上げにしっかりと向かうことのできる体制を整えます。

■小栗市長が就任して2年目となり、公約と政策を実行するためには市役所職員の組織力強化が大切と考えます。そのためには、職員と市長の信頼関係を構築し職員が安心して働ける職場づくりへの取り組みを評価します。
令和7年度は組織力強化のため大胆な機構改革を実施されました。市長公約である「笑顔があふれ未来がワクワクするなかつがわ」を目指し、新たな組織の中、市民との対話集会などを通じてよく聞き、総合計画の総仕上げができる体制づくりに期待します。

【総務部】

□本庁舎及び中消防署の建替え時期等を判断するため、令和8年度に予定していたコンクリート診断及び施設の劣化状況診断を前倒して行うほか、本庁舎のエレベーター2基の改修を行い、市民や職員の安全を確保します。自治体DXでは、行政手続のオンライン化を積極的に進めるとともに、令和7年度中に自治体情報システムの標準化に移行します。

■診断結果はもとより、規模や立地条件など、市の重要拠点として必要な条件を抽出し、スピーディーかつ計画的な事業推進となることを願います。
自治体DXを進めることで、情報の共有や市民の利便性向上だけでなく、職員の在宅勤務など働き方改革にも繋がると考えます。

3月定例会

議案の詳細につきましては、
市ホームページをご覧ください



	議案番号	件名	委員会審査		議決結果
			付託	審査結果	
報告	報第1号	専決処分の承認を求めることについて	—	—	承認 (全会一致)
請願	請願第3号	請願書「中津川市議会議員定数削減に関する請願」 (令和6年第5回中津川市議会「定例会」継続審査事件)	定	採択 (賛成多数)	採択 (賛成多数)
	請願第4号	請願書「高齢者の足と耳に関する請願」	文	不採択 (賛成少数)	不採択 (賛成少数)
条例	議第12号	中津川市行政組織条例の一部改正について	総	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第13号	中津川市地域事務所設置条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第14号	中津川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第16号	中津川市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第17号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第18号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第19号	中津川市積立基金条例の一部改正について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第20号	中津川市国民健康保険高額療養費貸付基金条例の廃止について	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第21号	中津川市手数料条例の一部改正について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第22号	中津川市教育研修所設置条例の一部改正について	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第23号	中津川市老人福祉施設等の設置等に関する条例の一部改正について	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第24号	中津川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び中津川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	文	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第25号	中津川市国民健康保険条例の一部改正について	文	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第26号	中津川市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第34号	中津川市職員の給与に関する条例の一部改正について	総	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
議第36号	中津川市議会委員会条例の一部改正について	—	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)	
人事	議第27号	中津川市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	—	同意 (全会一致)
	議第28号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	—	可決 (全会一致)
	議第29号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	—	可決 (全会一致)
	議第35号	中津川市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	—	—	同意 (全会一致)

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会 定：議員定数等特別委員会

当初予算 各部の主な取組みと議会の所見

※□・・・各部の主な取組み、■・・・議会の所見

【環境水道部】

□市民生活に必要不可欠な上下水道やごみ処理などの業務を担っており、安全で安心した市民生活環境及び公共用水域の水質を保全し、公衆衛生の向上のため各施設の安定稼働を図ります。
メモリアル施設では、市民が大変待ち望んでいる施設であり、令和7年度早々に最終候補地を選定し、令和12年度供用開始を目指します。
環境センターではごみの減量化と適正処理に取り組み、焼却設備の安全安定稼働を継続するとともに、中津川・恵那広域ごみ処理施設の候補地選定に向け協議を進めます。

■中津川・恵那ごみ処理施設広域化協議や、新斎場建設に進展がみられる中、上下水道の維持管理についてもより一層慎重な議論が必要な段階です。市民への情報開示及び説明を迅速かつ丁寧にお願います。また、生活インフラとしての安心安全は絶対です。事故なく、確実な進捗を期待します。

【消防本部】

□「限られた人材と予算を有効利用し、災害に強い安全なまちづくり」実現を目指します。装備面では、増加する救急要請や高度化する現場対応に応えるために、老朽化した高規格救急車・指揮車・連絡車を各1台更新します。
救急業務高度化の推進では、救急救命士の採用や養成、救急隊員の知識技術の習得向上や資格の取得を図ることにより、現場活動で活かせる人材育成を継続します。

■装備を活かすためには、隊員の知識や技術の向上、そしてチームワークが欠かせません。毎年の様に各地で想定を超える災害が発生する中で、消防団との連携を含め、市民が安心して暮らせる人材育成や組織づくりをお願いします。

【病院事業】

□医師の働き方改革が始まり、病院経営にも変化が求められています。
令和7年度は、限られた医療資源、人材を最大限に活かすとともに、市内の医療機関、介護施設等と連携および役割分担をして、医療従事者が働きやすい環境を確保します。市民病院を中心に、安定した医療提供体制を確保し、良質な医療を継続して出来る運営体制の構築を目指し、市民の皆様が「健康に暮らせるまち」に貢献できるよう、取り組みます。
市民病院は「公立病院経営強化プラン」を実行する年度となります。「持続可能な地域医療の提供体制を確保するため、経営強化に努めます。医療機器の整備と、医師、看護師等の医療スタッフの確保に努め、東濃東部地域の中核病院として、急性期医療を中心に一層の充実を図ってまいります。
坂下診療所・老人保健施設を現状のまま継続することは、大変厳しい状況です。今後の方針を早期に定められるよう、各方面との調整を総力で取り組んでいきます。

■中津川市は面積が広く、人口減少が著しくとすみ厳しい条件下ですが、何としましても、東濃東部地域の中核病院として、急性期医療の病院として、中津川市民病院を中心に、市民に対して安定した医療提供を確保してください。市民病院の医療機器を、最先端の機器にするなど、今まで以上の医師確保にも期待します。坂下診療所、坂下老人保健施設については、令和7年度当初予算で赤字補填の特別繰り出し5億円、運営経費3億5,740万円を計上しています。中津川市全体の中で、医療体制の在り方なども検討していただくことを期待します。

【建設部】

□リニア中央新幹線開業を見据えた道路整備を進めます。災害に強い、安心で便利に暮らせる社会基盤整備や主要道路の整備を進めます。自然災害に備え、計画的に河川整備工事や、河川内の堆積土や支障木の除去を行います。砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業などは、国・県と連携し整備を図ります。

■待ちに待った神坂スマートインターチェンジが令和7年秋に供用開始予定となりました。最後まで進捗管理をお願いします。工期を守る計画的な工事で、市民の安心・安全を第一に、便利で暮らしやすい中津川市の社会資本の整備をお願いします。

【教育委員会】

□将来の中津川市を担う子どもたちの「よりよいひとりだち」を目指します。コロナ禍が及ぼした影響を克服するための対策として、体力・運動能力の低下や、不登校対策に全力をあげて取り組みます。令和8年4月を目指して落合小中学校と神坂小中学校、福岡地区の3保育園、および、一色保育園と中津川保育園の統合を進めます。小中学校の教育環境の充実については、特別教室のエアコンの設置を進めていきます。坂本小学校給食共同調理場の早期完成、GIGAスクールの更新は令和7年度中に行います。給食費は、3歳児から5歳児の無償化を引き続き実施し、小中学校も賄い材料費の物価高騰分を引き続き公費にて負担し、子育て世代の負担軽減に努めます。

■園や学校、給食調理場の統廃合は地域に大きな影響を与えます。引き続き丁寧な協議をお願いします。また特別教室のエアコンの設置に続き、災害時に備え体育館への設置もお願いします。物価高騰が子育て世代の大きな負担となっており、更なる給食費の公費負担が必要だと考えます。校内教育支援センターが16校に拡充されました。不登校対応の充実を期待します。

請願

請願 「中津川市議会議員定数削減に関する請願」 (賛成多数 採択)
(令和6年第5回中津川市議会「定例会」継続審査事件)

請願の詳細はこちらから→ 

議員定数等特別委員会審査内容

前回の選挙で無投票ということもあり、議員の質の低下につながる可能性があること、市民アンケートでも議員定数を削減すべきとの声が多くあり、その結果を踏まえるべきと考えます。また、議員報酬額を増額し、若い人が市議会議員に立候補しやすい環境を整え、なり手不足の解消を図る必要があると考えます。

請願

「高齢者の足と耳に関する請願」 (賛成少数 不採択)

1. 要旨

- (1) 高齢者の移動手段に対する補助金の支給をお願いします。
- (2) 難聴者に対する補聴器購入時の補助金の支給をお願いします。

2. 理由

- (1) 高齢者、とりわけ免許を返納したり、足腰が弱った高齢者にとって、遠距離の病院通いや買い物はタクシーや定期バスに頼らざるをえず、運賃も高額となり時間も制約され深刻です。

全県下を見回すと、大垣市が年間5千円分の交通補助金の支給、海津市がコミュニティバスの5千円分の回数券を支給し、停留所を市内千か所に設置、輪之内町ではデマンドバスの回数券年間3万3千円分を支給、安八町では1万2千円分の交通補助金の支給、揖斐川町では1万円分の交通補助金の支給、隣の恵那市でも75歳以上の高齢者に一律1万円の交通補助金が支給されデマンドバス(恵那市の自主運行バス)には1回200円で乗れます。私たち中津川市でもせめて恵那市並みの補助金の支給をお願いします。

- (2) 加齢による難聴者は私たちの回りでどんどん増えております。難聴者は日常生活を不便にするだけでなく、他人とのコミュニケーションを避けて引きこもりがちになり、うつ病や認知症その他の病気を発症しやすくなります。しかも補聴器の値段は高価であり、収入の少ない年金生活者の生活を圧迫します。

県下においても海津市(8万円)、高山市(5万円)、関市・飛騨市(4万円)、神戸・輪之内・安八の各町と白川村で3万~4万円の補助金が支給されています。私たち中津川市にも4市3町1村にならって補助金の支給をお願いします。

文教民生委員会審査内容

●高齢者の移動手段に対する補助金の支給について

高齢者でも現役で車を運転している方や利便性の良い地域に住んでいる方もみえるので、一律に1万円を支給することは賛成しかねます。

●難聴者に対する補聴器購入時の補助金の支給について

中津川市は年齢に関係なく、聴覚障害6級以上の障害者手帳を所持している方に対して購入費を助成しており、基準が明確で誰もに納得感があり現状の制度で問題がなく、また加齢性難聴については国の動向をみていくべきと考えます。

その他	議第30号	財産の無償譲渡について	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第31号	市道路線の認定について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第32号	指定管理者の指定について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第33号	工事請負契約の締結について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
補正 予算	議第1号	令和6年度中津川市一般会計補正予算(第13号)	予	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第2号	令和6年度中津川市国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第3号	令和6年度中津川市病院事業会計補正予算(第2号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
当初 予算	議第4号	令和7年度中津川市一般会計予算	予	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第5号	令和7年度中津川市国民健康保険事業会計予算	予	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第6号	令和7年度中津川市駅前駐車場事業会計予算	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第7号	令和7年度中津川市介護保険事業会計予算	予	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第8号	令和7年度中津川市後期高齢者医療事業会計予算	予	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第9号	令和7年度中津川市水道事業会計予算	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第10号	令和7年度中津川市下水道事業会計予算	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第11号	令和7年度中津川市病院事業会計予算	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会 定：議員定数等特別委員会

賛否が分かれた議案の議決結果

議案	氏名	中津川自民クラブ														公明	市民ク	共産	9	コ	ネ	無	議決 結果			
		藤見 憲三	勝 彰	岡 隆彦	吉村 浩平	吉村 俊廣	島崎 保人	吉村 孝志	長谷川 透	宮崎 友義	林 友義	小池 菜摘	田口 文数	糸魚川 伸一	榎松 直子									松崎 誠	木下 愛子	藤田 信義
議第1号	令和6年度中津川市一般会計補正予算(第13号)	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
議第4号	令和7年度中津川市一般会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
議第5号	令和7年度中津川市国民健康保険事業会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
議第7号	令和7年度中津川市介護保険事業会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
議第8号	令和7年度中津川市後期高齢者医療事業会計予算	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
議第12号	中津川市行政組織条例の一部改正について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
議第24号	中津川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び中津川市児童福祉・保育施設及び指定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
議第25号	中津川市引当金条例の一部改正について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
議第34号	中津川市議員の給与に関する条例の一部改正について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
議第3号	請願第3号請願書「中津川市議会議員定数削減に関する請願(令和6年第5回中津川市議会「定例会」継続審査事件)」	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	採択
議第4号	請願第4号請願書「高齢者の足と耳に関する請願」	否	否	否	否	否	議長	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	賛	賛	賛	否	否	否	否	不採択

※公明：市議会公明党、市民ク：市民クラブ、共産：日本共産党、9：中津川9の会、コ：地域コネクト、ネ：市民ネット、無：無会派

予算決算委員会報告（補正予算）

③緊急対応が必要な事業 3億 7,138万 3千円

<主な事業>

- ・企業版ふるさと納税に係る仲介支援予算を増額(企画調整事業)……………2,750千円
- ・坂下診療所及び坂下老人保健施設へ臨時的に補助 *附帯決議下記参照
(坂下診療所繰出金事業)……………229,598千円
(坂下老人保健施設繰出金事業)……………130,402千円
- ・小口融資に係る信用保証料補給金予算を増額(商業振興事業)……………2,843千円
- ・活動室の傷んだ壁面を補修(ひと・まちテラス運営事業)……………990千円
- ・増級する小中学校の教室を整備(小中学校施設営繕事業)……………4,800千円

④早期発注のための事業 2億5,817万5千円

<主な事業>

- ・財産管理事務事業(本庁舎変圧器(PCB含有)取替工事)……………17,534千円
- ・高齢者福祉施設等運営事業(坂下福祉センター雨漏り等修繕 他4件)……………13,612千円
- ・斎場維持管理事業(付知火葬場火葬炉内壁脱落部補修工事等)……………2,640千円
- ・観光施設管理事業(付知峡不動公園危険木伐採業務 他4件)……………18,377千円
- ・小中学校施設営繕事業(校内教育支援センター開設に伴う工事等)……………33,300千円
- ・文化施設管理運営事業(中津川文化会館屋上防水改修工事等)……………50,369千円
- ・調理場整備事業(坂本小中学校給食受入施設整備工事等)……………104,500千円
他5件

⑤基金積立のための事業 5億2,100万円

<主な事業>

- ・リニア中央新幹線まちづくり基金管理事業……………300,000千円

⑥人件費の補正 1億 4,262万 8千円

<主な事業>

- ・職員給与費(退職手当の補正)……………142,628千円

⑦事業費等の精算 ▲4億8,328万5千円

<主な事業>

- ・農事組合法人への補助金を減額補正(畜産振興対策事業)……………▲358,759千円
- ・土地区画整理事業に係る予算を減額補正(リニア駅周辺土地区画整理事業)……………▲167,867千円
- ・一般会計からの繰入金を返還【病院事業会計】……………43,341千円

*令和6年度中津川市一般会計補正予算(第13号)に関する附帯決議 予算決算委員会(全会一致)

令和6年度中津川市一般会計補正予算(第13号)中、歳出予算の坂下診療所及び坂下老人保健施設への繰り出しについて、今後も基準外繰り出しを続けることは市の財政にも大きく影響を与えることが予想されるため、下記事項について強く要請します。

記

1. 坂下診療所及び坂下老人保健施設について今後の方針を早期に示すこと。
2. 引き続き医師の確保に努めること。
3. 経営健全化に努めること。

令和7年2月25日
予算決算委員会

■1月24日専決

◎エネルギー・食料品等価格高騰対策

- 【市独自事業】子育て世帯物価高騰支援給付金を支給……………2億2,460万7千円
エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、高校生年代までの児童一人あたり20,000円を支給します。
- 住民税非課税世帯に低所得者支援給付金を支給……………2億276万円
特に負担感が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯)に対し、1世帯あたり30,000円を支給します。また、当該世帯に18歳以下の児童がいる場合、児童一人あたり20,000円を加算支給します。
- 定額減税補足給付金(不足額給付分)を支給……………2億6,850万8千円
令和6年度に実施した所得税及び住民税の定期減税に係る調整給付金において、当初調整給付額に不足のある方に対し、給付金を支給します。

◎緊急対応が必要な事業

- 凍結防止剤散布に係る経費を増額(道路維持補修事業)……………5,420万円
今冬の低温と物価高騰により経費が増加し、凍結防止剤購入及び散布の委託費用が不足する見込みとなったため、補正します。

■繰越明許費の補正額(1月24日専決) 一般会計 6億9,587万5千円

●一般会計<追加> 3件

- ①子育て世帯物価高騰支援給付金事業……………224,607千円
- ②低所得者支援給付金事業(令和6年度住民税非課税世帯への給付分)……………202,760千円
- ③定額減税補足給付金事業(不足額給付分)……………268,508千円

予算決算委員会報告（補正予算）

令和7年3月補正予算の概要

議案の詳細につきましては、市ホームページの3月補正【概要】をご覧ください。



■補正を行う会計

- 一般会計……………11億506万円
- 国民健康保険事業会計(事業勘定)……………2,100万円
- 病院事業会計……………4,334万1千円

①国・県補助金等を活用しての事業実施 3億5,737万1千円

<主な事業>

- ・法人保育所等に対する財政支援を増額(法人保育所事業)……………25,727千円
- ・県営事業に対する負担金を増額(土地改良整備事業)……………29,760千円
- ・避難所における防災用備品を整備(総合防災対策事業)……………43,725千円
- ・落合小学校及び落合中学校を改修(学校規模適正化推進事業)……………258,159千円

②寄付金を財源としての備品購入等 212万円9千円

<主な事業>

- ・こども園の図書を購入(公立保育所事業)……………59千円
- ・教育基金へ積立(教育基金管理事業)……………2,000千円
他2件

常任委員会報告

常任委員会ごとに所管する範囲でテーマを決め、所管事務調査から課題を整理し、先進都市への行政視察や、テーマに沿った団体や参加者と「市民と議会の対話集会」を行いました。市民の声を聴き、課題や改善策の協議を重ね、令和7年3月27日に議長から市長へ政策提言・申入れを行いました。

政策提言書の
詳細はこちら
から→



◆総務企画委員会

○消防本部の体制強化及び消防団活動に係る政策提言書

主な提言内容

- 消防本部の体制整備について
 - 現状の消防署・消防分署のあり方や必要な人員体制の見直しを行い、消防力の強化に努めること。
 - 本市は総面積が広いため、効率的に運行できる救急業務を考察し、スピードアップを図ること。
- 消防団活動について
 - 出動手当の見直しを進めるとともに訓練のあり方、方法についての検討を行い、また消防活動に必要な免許取得等に対する支援制度の拡充を図り、団員の処遇改善に努めること。
 - 他地域への勤務者も多く、班体制では消防車両が出動できない状況を早期に解決するため、部単位の器具庫整備を早めること。

◆文教民生委員会

○図書館機能を中心とした現状と更なる活用に係る申入書

主な申入れ内容

- 図書館本来の機能
 - 学校図書館司書との連携を強化し、子どもたちが図書館に関心を持てる充実・発展をお願いしたい。
 - 子どもたちが読書に「わくわく、どきどき」する読書サークル活動を推進されたい。
 - 図書館に行きたいと思わせる企画の強化・企画展示をお願いしたい。
- 居心地・おもてなし
 - 図書館ルールの緩和において、複合施設のメリットを最大限発揮できるよう活動願いたい。
 - 高齢者の居心地の充実について、季節や分野ごとにタイムリーなイベントを企画されたい。
- 協力
 - 中津川市固有の特色ある魅力、郷土に関わる資料や情報について、収集・整理・保存をひきつづき推進願いたい。

◆産業建設委員会

○市内企業の労働者不足に係る政策提言書

主な提言内容

- 現在行っている雇用対策事業及び若者の地元定着推進事業について、現行のままで良いか一度再検証をしていただきたい。
- 小中学生の段階において地元企業の認知を図るため商工団体と連携した取り組みを、学校や教育委員会と連携して市内全域に広げていただきたい。
- ワーカーサポートセンターによる子育て世代を対象とした説明会はすでに開催されているが、勤労意欲のある方の支援として、労働条件等の具体的な内容等を示した丁寧な説明や、開催回数を増やすなど労働力の確保につながる説明会の開催に取り組んでいただきたい。また、ワーカーサポートセンターの相談受入れ体制を充実していただきたい。
- 生産性向上や省人化対策に関する補助金制度(国・県なども含む)等の分かりやすい「チラシ」等を作成し、企業に配布するなどPRに努めていただくとともに、生産性向上や省人化対策に取り組む意欲のある企業に対し、取組みを後押しするような対策を講じていただきたい。

予算決算委員会報告 (補正予算)

■繰越明許費の補正額(3月補正予算)

一般会計 41億4,878万2千円

I. 国の補正予算を活用し3月補正予算に計上し、翌年度に繰り越して実施する事業

◆一般会計<追加>	313,616千円
● 総合防災対策事業	43,725千円
● 学校規模適正化推進事業(小中学校)	258,159千円 他1件

II. 早期発注のため予算化したものであり、翌年度に繰り越して実施する事業

◆一般会計<追加>	238,541千円
● 高齢者福祉施設等運営事業	13,612千円
● 斎場維持管理事業	2,640千円
● 観光施設管理事業	18,377千円
● 小中学校施設管理事業	31,200千円
● 文化施設管理運営事業	50,369千円
● 調理場整備事業	104,500千円 他5件

◆一般会計<変更>	17,534千円
● 財産管理事務事業	17,534千円

III. その他やむを得ない事情により事業完了が翌年度となる事業

◆一般会計<追加>	3,148,853千円
● 高齢者福祉施設等運営事業	5,390千円
● 市有墓地整備管理事業	75,585千円
● 畜産振興対策事業	588,241千円
● 企業誘致推進事業	44,336千円
● 濃飛横断自動車道関連道路整備事業	63,000千円
● 神坂スマートインターチェンジ事業	581,600千円
● リニア中央新幹線関連道路整備事業	544,301千円
● 交通安全施設設置事業	85,689千円
● 急傾斜地崩壊防止事業	50,000千円
● 河川改修事業	60,000千円
● 公園等維持管理事業	15,000千円
● 消防設備整備・施設建設整備事業	216,797千円
● 小学校施設管理事業	3,000千円
● 美術展開催事業	1,154千円
● 調理場整備事業	319,353千円
● 道路橋りょう災害復旧・河川災害復旧事業	62,560千円 他4件
◆一般会計<変更>	430,238千円
● 橋りょう新設改良事業	203,780千円
● リニア駅周辺土地区画整理事業	226,458千円

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は10人の議員が行ないました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

映像配信はこちらから→  会議録はこちらから→ 



(環境水道部長)

問 3年間にわたって10%ずつ段階的な引き上げでも、市民への影響は大きいです。物価高騰は収まっていますか。
①一般会計から2億円弱くらいの基準外繰り入れができませんか。
②児童扶養手当受給世帯、高齢福祉年金受給世帯、障がい者世帯等に減免制度の拡充の考えはありませんか。

答 ①令和5年度から、料金改定見送りに対して一般会計から基準外繰入金をいただいています。令和5年度1億5千万円、令和6年度は3億円、令和7年度当初予算には3億7千5百万円を計上しています。
②現時点では減免制度の拡充は考えておりません。

水道料金引き上げの計画について

木下 律子



(環境水道部長)

問 上下水道施設は、耐用年数を経過した施設や今後迎える施設があり老朽化が進んでいます。適切な時期に施設更新を行い、安心安全な市民生活の確保を図るべきと考えます。
①上下水道事業経営審議会での答申について市の考えを伺います。
②上下水道施設の現状と課題を踏まえ、市の見解を伺います。

答 ①市の方針は、上下水道事業経営審議会の答申に沿って改定率30%の水道料金改定を行いたいと考えています。また、この決定に至った経過などを市民の皆様にご説明をさせていただきながら、料金改定に向け準備を進めて行きたいと考えています。
②水道事業では、施設の更新計画に基づきながら施設更新、耐震化を進めていくことが大切と考えています。下水道事業では、ストックマネジメント計画に基づき施設更新や処理場の統合、集合処理から個別処理への転換を進めたいと考えています。

生活インフラ施設の安全確保について

林 友義

特別委員会報告

◆議員定数等特別委員会「中間報告」

1月16日

12月24日に(株)廣瀬行政研究所の廣瀬彦氏による「適正な議員定数と議員報酬について」の勉強会を実施し、議員定数の考え方や算定方式について説明を受けました。「大変参考になった」「市民の方に納得してもらうためにはどうしたら良いか考えていかなければならない」等の意見がありました。請願に対しては全会一致で「継続審査」となりました。

2月12日

市民アンケートの集計結果を参考にし各会派の意見も踏まえ、全委員から意見を伺いましたが、議員定数については、減員・現状維持。議員報酬については、増額・議員定数を減にして増額・現状維持と複数の意見がありました。再度会派で検討し、議論することといたしました。請願に対しては全会一致で「継続審査」となりました。

2月26日

各会派の意見を踏まえ、各委員で、自由討議を行いました。多くの会派が議員定数は減員、議員報酬は増額の意見となりましたが、全会一致とはならず、次回までに再度検討し、報告いただくことにしました。全会一致で請願を「継続審査」となりました。

3月12日

再度検討した結果の「現状維持」と報告がありましたが、全会一致に至らなかったため、請願について採決を行いました。賛成多数により請願第3号請願書「中津川市議会議員定数削減に関する請願」を「採択」することに決しました。

続いて「議員定数・議員報酬について」を議題としました。自由討議のうち、具体的な議員報酬額、増額の根拠となる理由、費用弁償の額について会派で意見をまとめるよう依頼しました。

◆病院・医療等対策特別委員会「中間報告」

3月13日

中津川市民病院経営強化プラン(案)について

○報告内容

中津川市民病院経営強化プランは、令和5年度から9年度の5年間で持続可能な地域医療提供体制を確保するための経営計画として、市民病院の経営を強化し、黒字化を目指すために策定したものであり、年度ごとに検証と見直しを行うこととしています。令和5年度の点検評価報告書をもとに、令和6年度評価委員会を開催し、評価委員長より評価書をいただきました。主な内容は、恵那市や木曽南部地域を含む広域医療圏での協議の必要性、国保診療所の維持や開業医の高齢化、介護も含めた検討の必要性等の意見です。

坂下診療所・坂下老人保健施設の現状としては、3月補正予算に対して出された付帯決議については非常に重く受け止めています。また令和7年度当初予算での赤字補填を含む繰入金を計上しました。機器の故障等により診療ができなくなることを無いう坂下診療所等を維持するために市民全体で多くの負担をしているということをわかりやすい形で示しました。

今後の方向性については、いまだ結論が出ておらず、検討・協議をしているという現状の説明をいただき質疑に入りました。

○報告内容

- Q1:坂下診療所の民営化はどの程度進んでいますか。
A1:様々な条件をクリアする必要があるが、まだそこに至っていない。
- Q2:市民の医療需要をつかんでいますか。
A2:意識調査を踏まえ、どのような対策がベストかを検討中です。
- Q3:少しでも早く結論を出すべきではないか。
A3:現在、結論に向けての今後のあり方を探っているところです。
- Q4:坂下地域だけでなく、市全体を見ることが必要ではないか。
A4:市全体の医療ニーズを踏まえ適正に判断する。
- Q5:民営化の際には市の補填が必要か。
A5:その場合のさらなる赤字補填は考えていない。

避難所の環境について

糸魚川 伸一

避難所に指定されている公立小中学校の体育館などに空調を新設する場合、費用の2分の1を国が支援します。災害時に避難所としてはもちろん、猛暑が年々深刻化している中で、日頃の児童生徒の安全のため、また、天候に左右されない授業推進のため、国の支援を活用し、避難所となる小中学校体育館にエアコンを早期に設置すべきと考えますが見解を伺います。

答

避難所環境の充実は重要であり、昨今の厳しい気象状況を考慮し、避難者の健康維持の観点からも、避難所にエアコンが整備されている状態は非常に望ましいと考えます。

(総務部長)

教育委員会としても、猛暑が年々深刻化していく中で、教育環境を充実させることは重要なことと認識しています。

現在、小中学校の特別教室へのエアコン設置を優先して進めており、令和7年度・令和8年度の2年で実施する予定です。

体育館へのエアコン設置につきましては、特別教室への設置の完了後に検討していきたいと考えています。

(教育委員会事務局長)



リニア工事にともなう懸念事項について

田中 愛子

坂本千日林の市道で路面沈下が確認され、昨年5月までに別工区でも複数カ所の路面沈下を確認しているとの報道がありました。

①何方で場所はどこですか。

②住民への説明はどの様に行われていますか。

③路面沈下が起きた場合は、早期解決のため速やかに公表すべきと考えますが、所見を伺います。

答

①山口地内の市道二升崎、夙線と山口トンネル(斜坑トンネル)の交差点所で、18地点の計測地のうち6地点で3センチ以上の路面沈下がありました。

②路面沈下による道路交通への支障は生じなかったため、市から住民等への説明はしておりません。

③路面沈下により道路交通に支障が生じた場合には、速やかに公表いたします。

(建設部長)



中学校部活動の地域移行の現状と今後について

松崎 誠

県のガイドラインに基づき、休日における保護者等のクラブ活動を、令和7年度までの3年間を改革推進期間、令和8年度から地域クラブに移行する計画で準備が進んでいます。

①指導者の育成や指導者バンクの準備状況を伺います。

②移行期間はコメディエーターによる対応が必要と考えます。配置計画の有無を伺います。

③地域クラブの指導体制をどの様に管理されるのか伺います。

答

①県が主催する地域クラブ指導者育成研修会への参加を促すことで、指導者の育成・確保に努めています。また、指導者バンクについては、子ども引退と共に指導者を辞めしてしまう資格を有する保護者を登録できるように、仕組みづくりを行っています。(教育委員会事務局長)

(教育委員会事務局長)



中京学院大学の移転について

勝 彰

2月22日の新聞に「中京学院大学多治見市へ移転」の記事が掲載されました。中京学院大学の32年間の中津川市での存在は、中津川市に大きな意義がありました。

中京学院大学の移転による影響と対策について、伺います。

答

中京学院大学は、設立以来、教育活動や地域貢献において重要な役割を果たされており、市外への移転が地域経済・社会に大きな影響を及ぼすものと考えています。現段階では、具体的な影響については不透明な状況ですが、中京学院大学と中津川市は連携協定を締結しており、市や地域の関連事業への学生参加や教員の方への各種委員の委嘱、講師派遣など幅広く活動いただいている面からも影響があると考えられています。

大学が移転したとしても、中津川市から最も近い東濃圏域唯一の4年制大学であり、今後とも取り組みを継続し、地域のために連携することが必要と考えます。

(政策推進部長)



介護の充実について

鷹見 信義

①訪問介護の基本報酬が下げられた2024年4月に通り、減収を補填する支援金の支給や、また介護職員への一時金の助成はできないか伺います。

②第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の実行状況を伺います。

③市は介護施設や介護職員の大変な現状をどれだけ把握されているか伺います。

答

①減収を補填する支援金を市が独自で支給することについては、考えておりませんが、これまでも処遇改善加算による改善に取り組んでいるところですが。

②第9期の事業計画は令和6年度が初年度であり、評価はこれからですが、問題なく事業を進めています。

③第9期事業計画の策定にあたり実施した介護人材実態調査の結果等から、不足が顕著であると把握しておりますので、基本施策のひとつとして取り組むこととしています。

(市民福祉部長)



行政手続きの改革について

牛田 敬一

①行政ワンストッププロジェクトチームにおける、お悔やみ手続き(記入枚数・時間・窓口移動等)がどのように改善されるのか伺います。

②中津川市のホームページにオンライン申請が分かりやすいボタン等を設けてはいかがですか。

答

①「おくやみコーナー」を設置し、ワンストップで死亡届出後の手続きを受けることで、異なる所属の窓口で同じ内容の説明や記入をする煩わしさや、複数の窓口を回る移動の負担を軽減します。現在最大7窓口、14枚程度の届出の記入が必要で、所要時間1時間30分以上かかる手続きを、1つの窓口で、1時間以内に出るように、運用を検討しています。

(市民福祉部長)

②現在、市ホームページにはトップページの「便利なサービス」というコーナーに「申請書ダウンロード」という入り口を設けています。これを「オンライン申請」といった名称に変更する予定です。

(政策推進部長)



令和7年度 完成予定の主な事業

中津川市役所会議棟



文化会館と健康福祉会館の間に事務所機能を備えた会議棟(770㎡)が完成しました。会議棟には行政機能の農林部が北分室から移転し4月21日から業務を開始しています。

教育委員会・文化スポーツ部の本町分庁舎移転

4月30日より中央公民館とともに、教育委員会及び文化スポーツ部は本町分庁舎(旧図書館)にて4月30日から業務開始しました。



子どもたち1,064人の坂本学校給食共同調理場



令和6年度から安全・安心な給食の提供と効率的な運営に向け建設工事がはじまった「坂本学校給食共同調理場」は小学生701人・中学生363人、他教員を含め合計1,200食の給食を提供できる施設です。

秋ごろ開通予定の神坂スマートインターチェンジ

リニア開業を見据え神坂スマートインターチェンジの整備が進んでいます。施行延長は1,090mで、今年の秋ごろ開通予定です。



明治大学ファームステイ実習について

宮嶋 寿明

問

中津川市の農業を、明治大学との交流を通じて活性化できないか伺います。
①ファームステイ受け入れ先への、中津川市の助成金額を伺います。
②ファームステイの現状や交流をどう活かすか等について、受け入れ先との情報交換は行われていますか。

答

①助成金額は、1日あたり1人につき5千円、7日間の実習で1人につき3万5千円を受け入れ先へお支払いしております。
なお、令和7年度からは1日あたり、1人につき6千円になるよう予算要求しています。
②実習前に受け入れ先と明治大学の担当者で事前打合せを行い情報交換に努めてまいりましたが、十分でない部分もあったかと思っております。今後は、ファームステイ実習の実施方法や学生の意見等を反映させ、受け入れ先との情報共有をしさらに有意義な取り組みに繋がるよう努めます。
(農林部長)



「高校バス通学補助金」の拡充とそのあり方について

黒田 ころ

問

高校へ遠距離通学する生徒の高額な通学費の負担軽減から現在も補助金制度があります。それでも通学費は高額になり、少子化が進む中、地元の公立高校を選択する生徒数にも影響が出るのではないのでしょうか。
①令和7年1月に市内の公立高校等の校長先生方が、通学費補助金拡充について要望等にお見えになられています。過去にもありましたか。
②1ヶ月5千円に定期代と同等の補助を実施するには、従来の予算よりいくらの増額になりますか。

答

①令和7年1月21日に市内5校および恵那高校の学校長が来庁され、高校生の通学支援に関して、本補助制度の担当部署である定住推進部と意見交換を行いました。それ以前には、学校長が要望等に来庁されたことはありません。令和5年度の実績ベースで試算しますと、約1750万円の増額となります。
(定住推進部長)



つるしびなを議場に飾りました

6つの団体の協力により、10体のつるしびなを議場に飾りました。



3月11日

消防団車両受渡式



坂本分団・坂下分団消防ポンプ自動車 2 台 苗木分団小型ポンプ積載車 1 台
落合分団・苗木分団小型動力ポンプ 2 台



消防車両受渡式



小型動力ポンプ操作説明



消防ポンプ自動車操作説明

中津川市へ行政視察に来られました 令和6年度の受け入れ状況

来市月日	来市団体	来市月日	来市団体
5月22日	滋賀県湖南市 福祉教育常任委員会	10月23日	島根県大田市 民生常任委員会
7月24日	栃木県日光市 行政調査特別委員会	10月30日	福島県石川郡石川町 文教厚生常任委員会
7月30日	愛知県瀬戸市 議会運営委員会	11月 6日	海津市 文教民生委員会
8月 8日	静岡県沼津市 議会運営委員会	11月12日	奈良県大和市 会派「大和郡山志政クラブ」
10月 4日	埼玉県深谷市 産業建設委員会	1月23日	神奈川県秦野市 会派「公明党」
10月 7日	新潟県三条市 会派「清風会」	1月29日	京都府 魅力ある地域づくりに関する特別委員会
10月17日	長野県伊那市 会派「素心クラブ」	2月 5日	長野県小諸市・東御市 会派「公明党」

議会開催状況 12月24日～3月27日

本会議	(4回)
総務企画委員会	(2回)
文教民生委員会	(1回)
産業建設委員会	(1回)
予算決算委員会	(5回)
議会運営委員会	(6回)
議員定数等特別委員会	(4回)
病院・医療等対策特別委員会	(1回)
議員連絡協議会	(2回)

令和7年6月定例会の日程

6月 2日 (月)	本会議 (初日)
6月11日 (水)	一般質問
6月12日 (木)	一般質問
6月17日 (火)	産業建設委員会
6月18日 (水)	総務企画委員会
6月19日 (木)	文教民生委員会
6月20日 (金)	予算決算委員会
6月25日 (水)	本会議 (最終日)

編集後記

小栗市長となって初めて一から取り組んだ令和7年度の当初予算です。「ひとづくり、地域づくり、安心づくり」をさらに充実させた内容となっています。また令和7年度は神坂スマート IC、会議棟、坂本学校給食共同調理場などの供用が開始されます。当初予算の事業が着実に実行できるよう、議会としてもしっかりと監視し、市民の皆様に情報発信していきます。

コロナ禍以前のように、地域行事、各種大会やイベント等が大きく動き出しています。中津川市全体の活性化につながるように、議会としても行事やイベント等に関心をもっていきます。少しでも多くの市民の皆様に議会の動きが届くよう、紙面を作っていきます。また、皆様の感想・意見等もお待ちしています。

令和7年度も「市議会だより なかつがわ」をよろしくお願いたします。